



オートクローザー(鋳物門扉用) (調整金具P用)

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。



■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

安全に関する記号と説明

-  **警告** ・取扱いを誤った場合に使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示します。
-  **注意** ・取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示します。

情報に関する記号と説明




-  **お願い** ・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
-  **補足** ・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

ネジ等の締結部品の記号

ネジやナット等の締結部品を記号で示しています。(例：1a、1b、2c等)
締結部品の種類は「各ページの右上」または「**梱包明細表**」を参照してください。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

□ 施工の前に





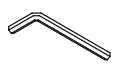


-  **警告**
 - 門扉は、人や車の出入りする場所に設置するものです。使用用途・目的を踏まえた上で必ず安全に設置してください。特に開閉時の扉が公道(道路面)に飛び出さないようにしてください。重大な事故につながるおそれがあります。
-  **注意**
 - 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
-  **お願い**
 - 施工場所に寸法的に正しく納まるか事前に十分確認をしてください。
 - 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
 - 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
 - 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
 - 給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接当たらないように施工してください。熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

□ 施工上のご注意

-  **注意**
 - 施工終了後は、扉の開閉チェックを行い、不具合がないか確認してください。

梱包明細表

※内開きのみ

【1】オートクローザー（鋳物用）セット			
名 称	略 図	員 数	
		右用	左用
オートクローザー本体(右)		1	—
オートクローザー本体(左)		—	1
ジョイントK(右)		1	—
ジョイントK(左)		—	1
クローザー用六角棒レンチ(サイズ:2.5mm)		1	1
イモネジ用六角棒レンチ(サイズ:3.0mm)		1	1
【1-1】M8×25六角ボルト		4	4
【1-2】M8バネ座金		4	4
取付説明書	—	1	1
取扱説明書	—	1	1

【2】オートクローザー（鋳物用）錠部品セット					
名 称	略 図	員 数			
		片開き用		両開き用	
		右用	左用	右用	左用
落とし棒セット		—	—	1	1
ヒンジ上(右)セット		1	—	1	1
ヒンジ上(左)セット		—	1	1	1
ヒンジ下(右)セット		—	—	—	1
ヒンジ下(左)セット		—	—	1	—
ヒンジB(カバー取付孔付)		2	2	2	2
ヒンジカバー		2	2	2	2
戸当りセット		1	1	1	1
落とし棒受け		—	—	2	2
【2-1】M5×16サラ小ネジ(落とし棒止用)		3	3	3	3
【2-2】M5×20トラス小ネジ(戸当り止用)		—	—	2	2

1 施工前の注意

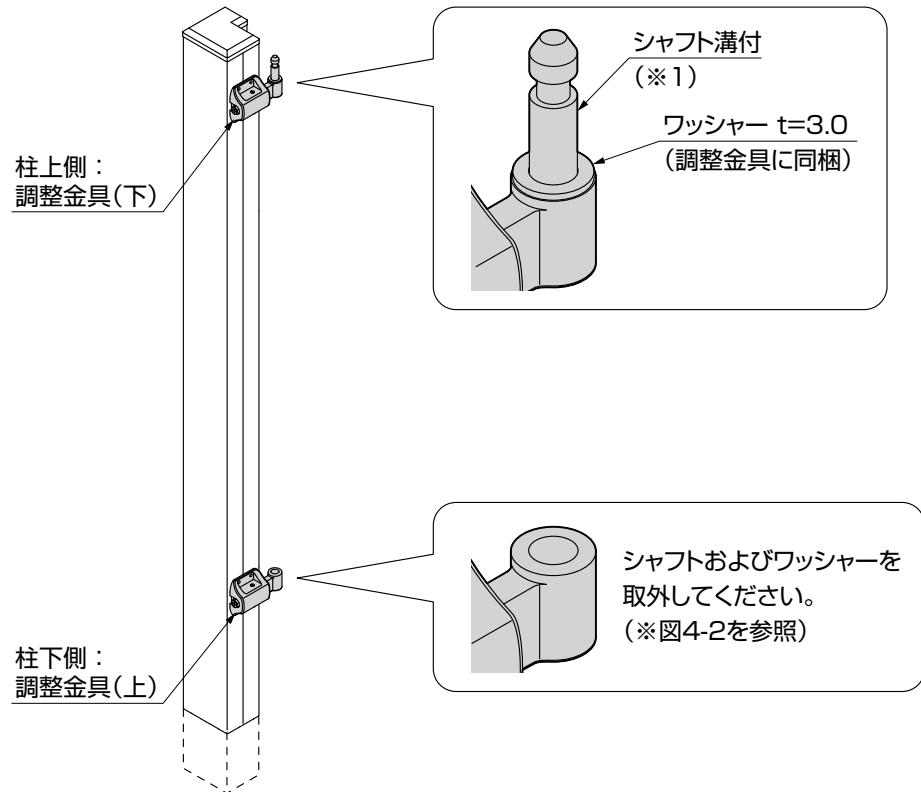


図1-1

お願い

- オートクローザーを付ける側の門柱には、調整金具が上下逆に付いていることを確認してください。
- 柱上側の調整金具（下）には、シャフトに溝があります。（※1）
- 柱下側の調整金具（上）のシャフト取付ネジを外し、シャフト部を取除いてください。（図4-2参照）
- 正しく付いていない場合は組付け直してください。

2 納まり寸法および開閉範囲

※本オートクローザーは内開きのみです。

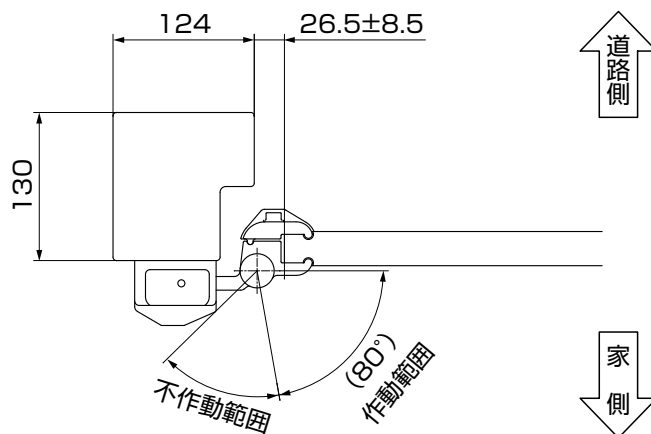


図2-1

補足

- オートクローザーの作動範囲は0°～80°です。
- 不作動範囲は80°以上です。
- 作動範囲・不作動範囲は標準値です。調整金具の調整により若干異なります。
- 不作動範囲内では扉を任意の位置で止めることができます。

3 オートクローザー本体の扉への取付け

※図は、内開き用の右勝手を示します。左勝手の場合は、左右反対です。

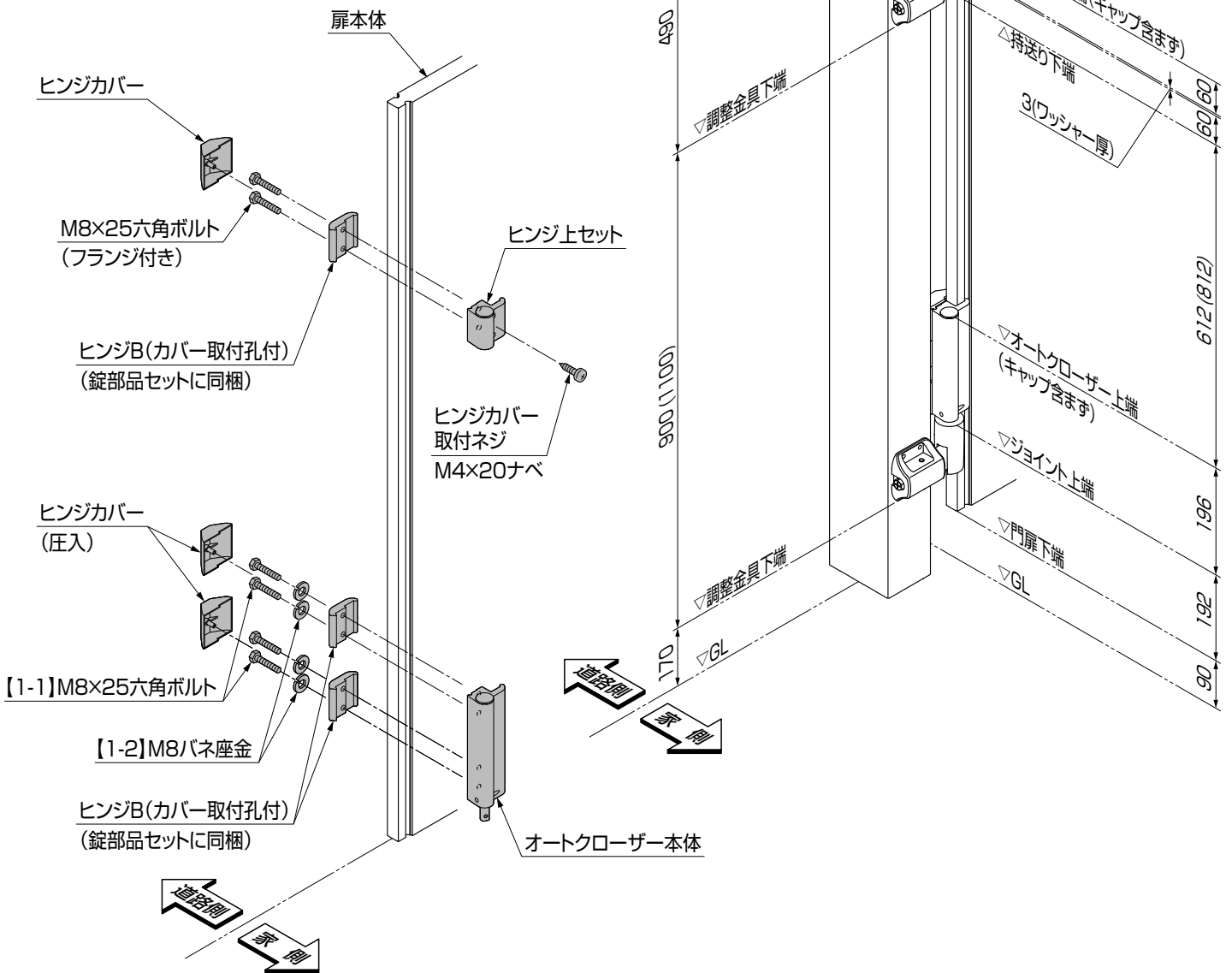
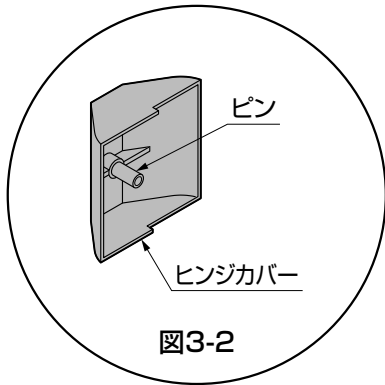


図3-1

- ① オートクローザーにヒンジB (カバー取付孔付) を取付けてください。
- ② オートクローザー本体を図のように取付けてください。
- ③ ヒンジカバーをヒンジB のカバー取付孔に差込んで固定してください。

補足

- ヒンジカバーを取外すときは、引抜いてください。外しにくいときは、マイナスドライバー等でこじると外しやすくなります。

4 ジョイントの取付け

※図は、内開き用の右勝手を示します。左勝手の場合は、左右反対です。

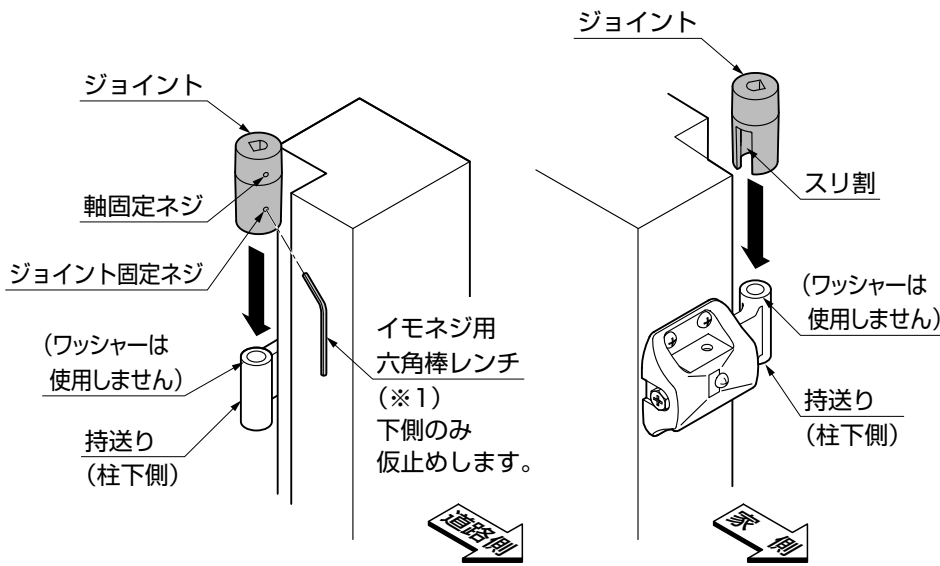


図4-1 ジョイント取付け(調整金具P)
(柱下側)

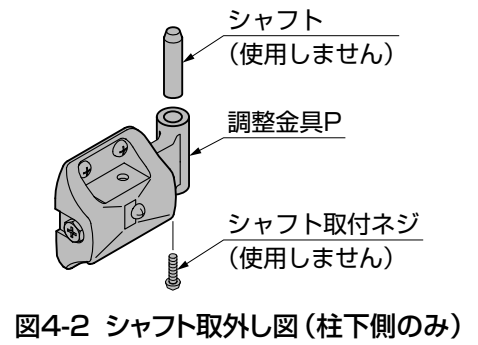


図4-2 シャフト取外し図(柱下側のみ)

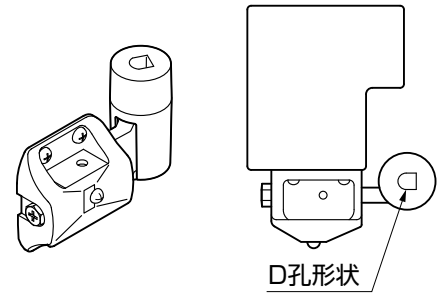


図4-3 ジョイント取付け詳細

- ①調整金具のシャフト取付ネジを外し、シャフトを抜いてください。(図4-2参照)
- ②ジョイントを柱下側の調整金具の持送り部に装着し、ジョイント固定ネジを付属のイモネジ用六角棒レンチで仮止めしてください。(図4-1参照)
- ③持送りとジョイントを取付ける場合、ワッシャーは使用しません。

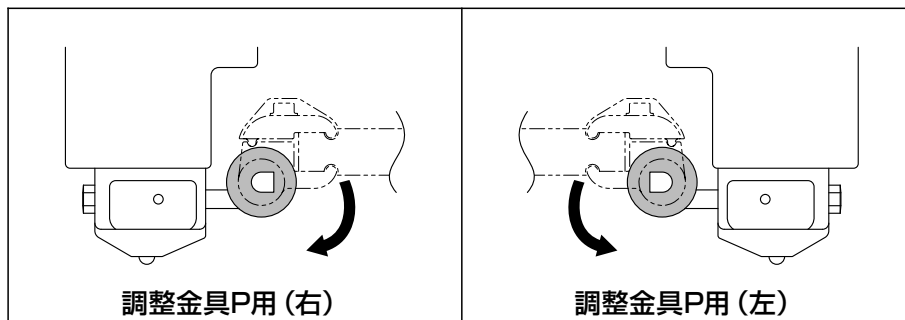
🔧 お願い

- ジョイントの取付けは、ジョイント固定ネジがジョイントの内面に突き出してこないことを確認してから行ってください。
- 持送りとジョイントとのスリ割りを合わせ、図4-3のように奥まで差込んでください。
- ジョイントのネジ下側ジョイント固定ネジ(※1)のみを仮止めしてください。
- ジョイントのD孔形状が、図4-3の向きに組付いたことを確認してください。
- ジョイントの組付けは、図4-1、表4-1を参考にしてください。

🔧 補足

- ジョイントのネジ下側ジョイント固定ネジは、ジョイントに仮止めしています。
- ジョイントのネジ上側軸固定ネジは、門扉本体を吊込むまで締めないでください。

表4-1 調整金具とジョイントの取付け方向(内開きのみ)



5 扉の取付け

※図は、内開き用の右勝手を示します。左勝手の場合は、左右反対です。

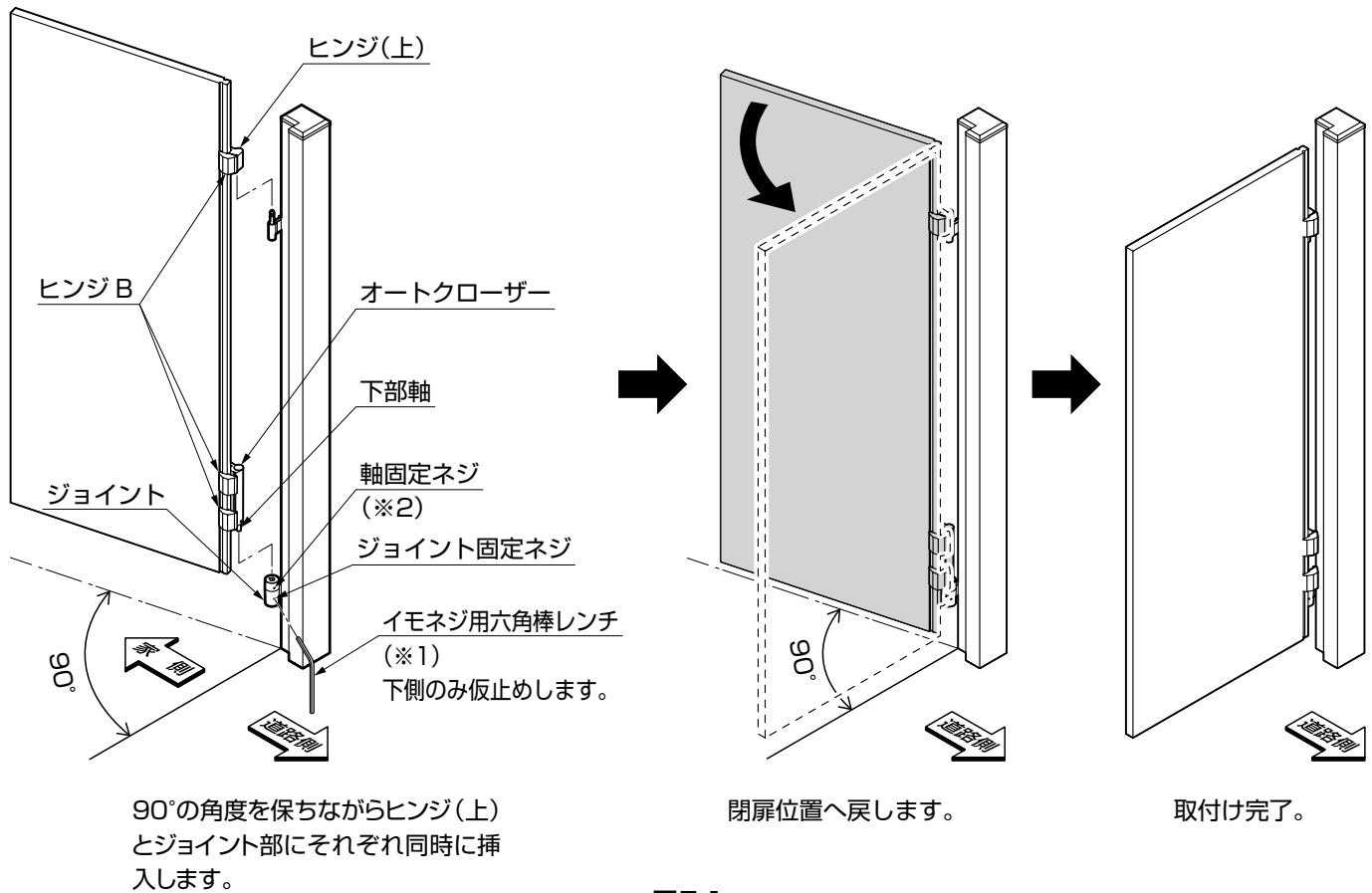


図5-1

①門扉取付けは、門扉を閉扉位置から90°の角度を保ちながら、門扉側のヒンジ(上)とオートクローザー下部軸を門柱側の上部シャフトとジョイントのD孔形状にそれぞれ同時に挿入します。それから門扉を閉扉位置まで戻します。

お願い

- オートクローザー下部軸のジョイントD孔形状への挿入は、ジョイントの軸固定ネジ(※2)がジョイントの内面に突き出してこないことを確認してから行ってください。

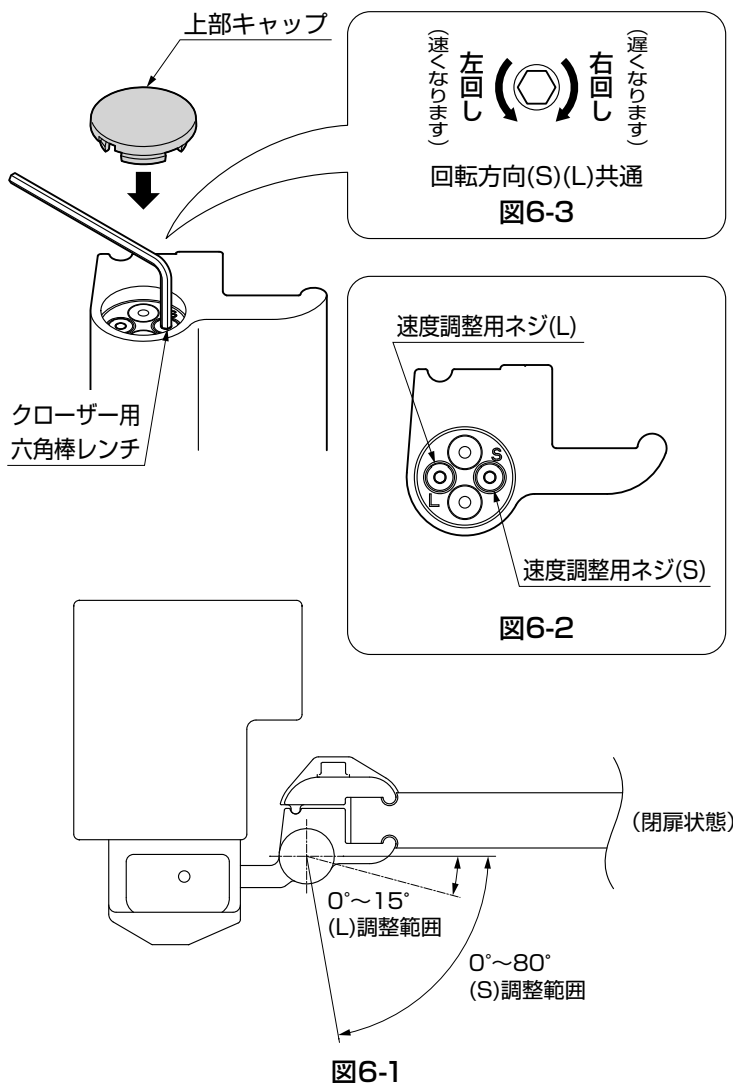
補足

- 軸固定ネジは、下部軸に仮止めしています。
- 門扉の取付けが完了し、不具合がないことを確認した後、ジョイント固定ネジおよび軸固定ネジを本締めします。

6 オートクローザーの調整

6-1 速度の調整

※図は、内開き用の右勝手を示します。左勝手の場合は、左右反対です。



- ①オートクローザー本体の上部キャップを取外してください。
- ②速度調整用ネジ(S) (図6-2) をクローザー用六角棒レンチで図6-3の回転方向に回して速度を調整してください。
- ③上部キャップを取付けてください。
- ④オートクローザーを取付けたら、門扉または錠の取付説明書を参照して施工してください。

お願い

- 閉まる速度が速過ぎると危険ですので、5~8秒間で80° から0° まで閉じるように調整してください。
- 速度を最も遅くした状態で無理に開閉しないでください。故障の原因になります。

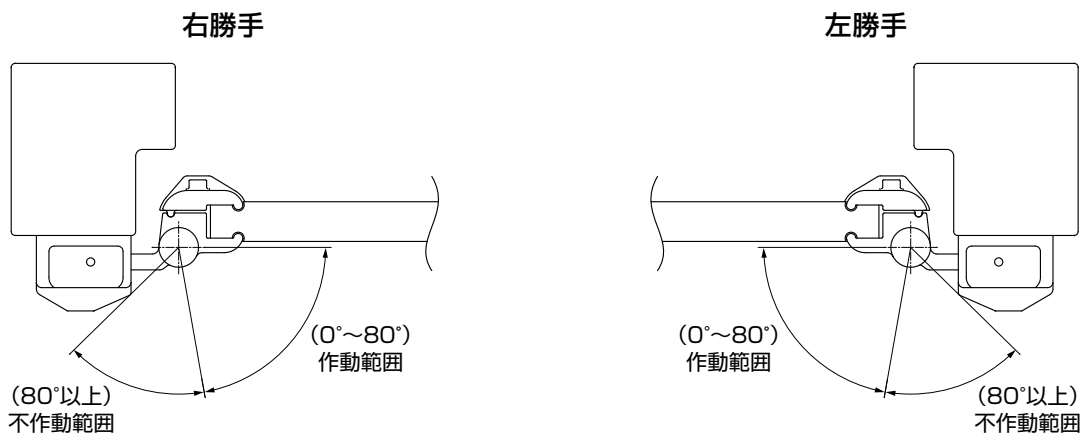
補足

- 速度調整用ネジ(S)は、オートクローザー作動範囲の全域(0°~80°)における速度を調整する機能です。
- 速度調整用ネジ(L)は、門扉が完全に閉じる直前(0°~15°)の速度を速くする機能です。必要に応じて調整してください。(遅くすることはできません。通常は使用しません。)
- 速度調整用ネジ(L)は、出荷時は閉じています。使い始めの際は、最初にオイルが回るように、2,3回扉を開閉させてください。
- 部品の特性上、夏期に比べ冬期は速度が遅くなります。

- ⑤開閉速度は、お客様も「クローザー用六角棒レンチ」を使って調整可能です。開閉に十分注意していただく旨をご理解いただいた上で、「クローザー用六角棒レンチ」をお客様へ手渡ししてください。

6-2 調整後の確認

※図は内開きの場合です。



- ①門扉を開きオートクローザーが作動範囲内(0°~80°)で機能することを確認してください。
- ②また不作動範囲(80°以上)でオートクローザーが機能せずストップすることを確認してください。

